

翠化粧合板株式会社

板面凹凸追随型サンダーの導入による天然化粧板の 高品質・低コスト化

天然化粧合板の国産品需要が増加している。天然化粧合板とは、薄くスライスした木材（突き板）を内装用建材の表面に貼付けた素材で、この市場を捉え、国産で高品質・低価格を強みに業容拡大するため、板面凹凸追随型サンダーを導入した。

事業取組みの経緯

大都市圏での建築増及び東京オリンピックが開催される2020年までに東京都の不燃領域率（市街地の延焼のしにくさを表す指標）を現状の60％から70％へ引き上げる計画があり、建築内装材として主力商品である「天然化粧合板」の需要が国内で伸びている。

不燃の天然化粧合板には極薄（0.25mm以下）の「突き板」を製造する必要がある（薄いほど燃えにくくなる）。普通厚の突き板に比べ低コストだが、貼付ける作業時に突き板が破れやすい欠点があるうえ、台板となるベニヤ板等の厚み精度によっては、仕上げ段階のサンダー工程で貼付けた突き板の厚みを全量削り、天然化粧合板表面に「破れ」を発生させてしまう技術的課題があり、薄い突き板でも破らず研磨できる設備の導入が必要であった。

実施内容

板面凹凸追随型サンダーを導入した。

- (1) 材料検知装置により化粧板の前端・後端や表面の厚み誤差を計測
- (2) (1)の凹凸の厚み誤差情報をエアerpッドの上下位置に反映
- (3) 過剰研磨や端ダレの解消

これらにより、これまでの技術的な課題を解決させる。作業員による確認作業がなくなり、製品の加工時間、段取りを含めたリードタイムの短縮化が実現し、また、極薄突き板を使用しても化粧合板の表面を破ることがなくなり、不良品の発生が抑制され、安価な材料で綺麗で高品質な製品を製造できる。



板面凹凸追随型サンダー

事業取組みの成果

板面凹凸追随型サンダーを導入後、使用する天然突板の厚さを従来の0.5～0.8mmから半分程度の0.25mmに落とすことができた。原料突き板コスト20％削減と製品不良率の10％削減により、自社主力の内装材・家具向け天然化粧合板のコスト15％程度の削減の見通しができた。

また、サンダー工程は、粗削りして検査、切削厚みを少し多くして切削という2工程であったが、1工程での作業が可能となり、低コスト・高品質な製品製造が可能となった。

今後の活動予定

大幅な製造コストダウンにより、高い需要の伸びが続いている大都市部の需要地までの輸送コストを負担しても、まだ競争力に余裕が生まれている。そのため、都市部マンション建築の増加と建材・木材商社の中国製品重視から国産品重視への回帰という市場動向変化を確実にキャッチして拡販に努める。また、自動車内装材として需要が見込まれており、新たな市場として期待している。

翠化粧合板株式会社

■代表者／代表取締役 翠簾屋 正興

■本社住所／〒798-0087 愛媛県宇和島市坂下津甲407-101

■TEL／0895-22-1103

■FAX／0895-25-0297

■メール（代表）／midorikesyougouhan@nifty.com

■設立年月日／平成25年12月2日

■資本金額／500万円

■従業員数／6名

■業 種／化粧合板製造

■事業拠点／本社工場 愛媛県宇和島市坂下津甲407-101

企業概要

昭和47年3月に合板製造を目的に創業し、平成25年12月に法人化した。

スライスした天然木を合板に貼合わせた化粧合板「突き板」の製造を行っている。長年の業歴を背景に、関西地方を中心として、関東地方にも販路を有し、営業基盤を構築している。建物建築で使用される化粧合板が取扱いの大半を占めている。

主要取引先

株式会社オーシカ、林木材株式会社、ジャパン建材株式会社、有限会社ヨシモト 他

主要商品



「壁突き板」
住宅、マンション等、建築物内装材として使用される突き板壁材



「天井突き板」
住宅、マンション等、建築物内装材として使用される突き板天井材

主要設備

ワイドベルトサンダー、突き板製造設備1式

担当者	代表取締役 翠簾屋 正興
連絡先	0895-22-1103
連絡先E-mail	midorikesyougouhan@nifty.com